

ベトナム出張報告（その1）

活動目的

ベトナムにおける推進工法関連の規格策定を支援し、本邦推進技術の普及を図るため、ベトナム側への技術基準類の提案（推進工事の設計施工マニュアル、積算方法、推進管規格）や、ベトナム建設省（Ministry of Construction: MOC）との意見交換及びベトナム国内の省（日本の県相当）への訪問等を通じた協力体制の構築を推進する。

今回の出張について

出張者：森田下水道研究官（当時）、大西研究官
（上記国総研職員に加え、国土交通省 岡久下水道部長他 10名程度）
出張期間：平成26年3月17日～21日（国総研職員）

【出張内容】

第5回日越下水道分野における技術協力に関する定期会議（3月17日）

①ベトナム建設省と国交省の下水道分野に関する技術協力覚書の更新

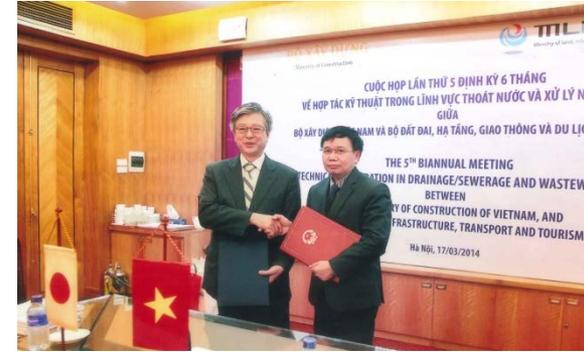
- 2010年12月、ベトナム建設省と国土交通省で副大臣間の下水道分野における協力覚書を締結（有効期限は3年間）。
- 以降、覚書に基づく政府間定期協議、ワークショップ・セミナーを継続的に開催しているところであるが、今般、協力覚書を更新し、従前の協力分野に加え、新たに以下3点を協力分野に追加することに合意
 - 1) 下水管路・下水処理にかかる技術基準の策定
 - 2) 下水道関連法規の策定
 - 3) 下水道分野の地下インフラ

②ベトナム向けの推進工法関連基準（設計・積算基準等）の授与

- 日本側より、今後、ハノイやホーチミン市内の下水管路網の整備にあたり、採用が見込まれる推進工法の普及を目的に、日越協働で作成したベトナム向けの推進工法関連基準（設計・積算基準）を授与
- 18日、20日には、作成した基準類の普及を目的に、ベトナム側中央政府・地方政府関係者を対象とした「**推進工法の普及に関するセミナー**」を開催

③協力の進捗状況の確認及び今後の協力に関する議論

- 中央政府間や自治体間の協力状況をレビューし、今後の予定を確認



更新覚書の交換



ベトナム向けの推進工法関連基準の授与



参加者による集合写真（定期協議）

ベトナム出張報告（その2）

【出張内容】

推進工法の普及に関するセミナー

- 2014年3月18日にハノイ会場（建設経済院10階ホール）、3月20日にホーチミン会場（ホーチミン建築大学）において、前日にMOCへ授与した基準類の普及を目的に推進工法の普及に関するセミナーを開催
- 日本側は、推進工法に関する日本の最新技術や環境影響評価、今般日・ベトナム双方の協力により作成した設計施工ガイドラインや積算基準、更にケーススタディなどについて発表
- ベトナム側は、建設科学技術院に承認されている英国基準と日本の技術基準の内容比較や、ベトナムにおける積算基準の必要性に関し発表



推進工法セミナーを熱心に聴講する越南関係者

☆ベトナム側からは、各種基準策定にあたっての日本側の協力を謝意が示された。また軟弱地盤への推進工法の適用性など、技術的な質疑交換が熱心に行われた。更に、今後の推進工法の普及について引き続きの協力を要請された。

推進工法の普及に関するセミナーのプログラム

時間	内容	発表者
8:00～8:30	受付	-
8:30～8:35	ベトナム側挨拶	Tien技術インフラ局長
8:35～8:40	日本側挨拶	ハノイ:国土交通省(岡久下水道部長) ホーチミン:在ホーチミン日本国総領事館(領事)
8:40～9:00	日本の最新推進技術、施工事例から学んだ経験及び下水道メンテナンス方法の紹介	日本推進技術協会
9:00～9:15	推進工法の環境影響評価	国土交通省 国土技術政策総合研究所 下水道研究部
9:15～9:35	管路建設工法選定の設計手法及び完成検査方法の紹介(設計施工ガイドライン)	日本工営
9:35～9:55	BSと日本の推進工法技術基準の比較(IBSTに承認されたBS基準との比較)	IBST(ベトナム建設科学技術院)
9:55～10:10	休憩	-
10:10～10:30	ベトナムにおける推進工事の積算基準策定の必要性について	MOC(ベトナム建設省)ー建設経済院
10:30～10:50	施工手順に沿った積算事例を図・写真と共に紹介(積算基準)	日水コン
10:50～11:05	推進管の仕様と品質管理試験方法(推進管規格)	グローバルワークス
11:05～11:25	ケーススタディ	日本工営
11:25～12:00	質疑応答	-
12:00～	昼食	-